

## イオンふるさと発見伝 浅野温子よみ語り ＜函館のいい話＞

1. 活動内容：地域文化の継承事業の一環として、その地方の「いい話」を、ご当地の次代を担う青少年に知ってもらおう事業。女優 浅野温子さんに語り部をお願いし、郷土愛をよりいっそう育むきっかけとなることを願って開催。
2. テーマ： 蝦夷地を愛した都のキツネ ～初姫と黒狐ものがたり～
3. 語り・脚本： 語り＝浅野 温子、脚本＝阿村 礼子
4. 日時： 2018年10月4日（木）14時00分～15時40分
5. 参加者： 函館市立湯川中学校（全校） 290名  
その他（市民、他） 60名 計約350名  
※湯川中学校は授業の一環として参加。
6. 来賓： 函館市 工藤壽樹 市長、函館市教育委員会 辻 俊行 教育長、  
北海道渡島総合振興局 城田俊樹 副局長
7. 主催： 公益財団法人イオンワンパーセントクラブ
8. 後援： 北海道、函館市、函館市教育委員会
9. 協力： 湯倉神社  
イオン北海道（株）、マックスバリュ北海道（株）

### 参加者感想

- ◎ 浅野さんの一人語りを観て、他のお話もきいてみたいな、こんなにおもしろいんだと思うことができました。これからは、ふるさとの話などからたくさんのお話を学び、自分が生まれた町「函館」のいいところをたくさん知りたいです。 (1年・女)
- ◎ 悲しい場面、明るい場面があって、感情のこもった演技に、私もおもしろくなったり、しみりしたり、すごく楽しかったです。個人的に初姫の声がかわいくて好きです。 (1年・女)
- ◎ 地震など災害が函館にも来ました。しかし、浅野温子さんの一人語りを聴いて、のりきる勇気をもらえた気がします。 (1年・女)
- ◎ 僕は将来、この話を子供たちに残せるようにしたいと思いました。 (2年・男)
- ◎ 昔の函館の良さ、今の函館の良さを再確認できました。 (2年・男)
- ◎ よみ語りしていただいたお話を自分のまわりのいろいろな人に伝え、このお話が蝦夷地の宝になればいいなと思います。 (3年・女)
- ◎ こんなに良い思い出をつくってくれたふるさとを大事にしていきます。 (3年・男)
- ◎ このお話は「初姫」と「黒」、そして「赤」がメインの話でした。この話に共通していることは「愛」だと思います。 (3年・女)



↑ 公演日前日、工藤壽樹・函館市長を表敬訪問



↑ 主催者挨拶を述べるイオン1%クラブ・本田陽生事務局長



↑ 湯倉神社・伊部宗博宮司に寄付目録を贈呈



↑ 工藤壽樹・函館市長が来賓ごあいさつ



↑ 舞台を縦横に動き回り熱演する浅野さん



↑ 浅野さんの語りと幻想的な音楽が流れる舞台に注目！



↑ 函館市立湯川中学の全校生徒 290 名が出席。浅野さんへよみ語りの感想、お礼の言葉を述べ、「湯中三魂」をつづった手作りの色紙を贈呈



↑ 浅野さんを囲んで。後列左から本田事務局長、伊部宮司、辻函館市教育長、工藤市長、城田北海道渡島総合振興局副局長、玉生マックスバリュ北海道取締役、原田イオン湯川店店長